

Vプレミアリーグ 悲願の初優勝に向けて

惜しくも2位という結果に終わったJTサンダーズだが、早くも来シーズンに向け動き始めた。8月26日(火)から28日(木)に大学生とともに練習などをする受入合宿を日本体育大学と行った。また、9月2日(火)から12日(金)にかけて恒例の北海道芦別合宿を行った。およそ半年に及ぶ長いリーグ戦で高いパフォーマンスを維持し続けるため、トレーニングメニューにも工夫が施され、さまざまなトレーニングによって体力づくりなどが行われた。早朝には選手達が自主的にランニングを行うなど、高い意識の中でトレーニングすることによって有意義な合宿になったのではないだろうか。春先に足首を手術した八子選手も別メニューながらリハビリは順調で新シーズンにはあの豪快なスパイクが見られそうだ。初優勝に向けて選手達が活躍することに期待したい。

来シーズンに向けて合宿を行う選手達



村上・中本ペア惜しくも準優勝

9月6日(土)から7日(日)に第42回全日本社会人選手権大会が、男子は京都府福知山市の三段池公園テニスコート、女子は舞鶴市の東舞鶴公園テニスコートで開催された。女子は117ペアのエントリーで、NTTから5組組が、佐々木・小林ペアと中野・小林ペアのベスト16が最高順位だった。男子は299ペアのエントリーで、NTTから4組が出場し、村上・中本ペアが2年連続で決勝まで進出したが、惜しくも準優勝という結果であった。

また、9月29日(月)から始まる第17回仁川アジア競技大会には長江光一選手、中本圭哉選手、大庭彩加選手、中堀成生男子コーチが出場する。出場選手はこの悔しさをバネに韓国で良い結果を期待している。

第17回仁川アジア競技大会

出場選手一覧

サンフレッチェ広島
野津田岳人 選手 吉野恭平 選手

JT サンダーズ
越川優 選手

ワクナガレオリック
(ドイツのフクセベルリン)
成田幸平 選手

広島メイプルレッズ
松村杏里 選手

NTT 西日本広島ソフトテニスクラブ
長江光一 選手 中本圭哉 選手
大庭彩加 選手

コカ・コーラウエスト レッドスパークス
吉川由華 選手 小野真由美 選手
大田昭子 選手 新井麻月 選手
西村綾加 選手 笠原佳乃 選手
三橋亜記 選手

各チームの1推し選手を紹介します。

☆選手紹介コーナー☆



ワクナガレオリック
シグフス・パウル・
シグフソン

生年月日 1986/2/1
身長 175 cm
血液型
出身地 アイスランド

担当者からのコメント

期待の新戦力！アイスランドリーグで活躍していました。ワクナガレオリックでの活躍も楽しみです。



ロゴマークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。



加盟
団体



サンフレッチェ広島



JTサンダーズ



ワクナガレオリック



広島メイプルレッズ



広島ガス
バドミントン部



NTT西日本広島
ソフトテニスクラブ



中国電力
陸上競技部



コカ・コーラウエスト
レッドスパークス



広島東洋カープ

トップス広島 事務局
〒733-0036
広島市西区観音新町4-10-2

TEL:082-233-3233
FAX:082-233-3251
URL:www.tops-h.net/

このQRコードから
公式Webサイトへ
アクセスできます。



広島東洋カープ

主砲の復活！ カープクライマックスシリーズへ

8月26日(火)～9月21日(日)のホーム戦12試合を、7勝5敗と勝ち越したカープ。サヨナラ勝ちや連勝で、さらに勢いを増している。また18年ぶりに70勝にも到達し、チームも2位をキープしている。まさに、コイの底力といえよう。

カープが上位へ進出するために必要な存在。その一人が主砲、エルドレッド選手だ。長く打撃不振が続いていたが、9月21日(日)のDeNA戦、ついに復活した。2-1と敗戦ムードだった8回裏ノーアウト1塁のチャンスで回ってきた打席。相手ピッチャーが投げたボールをうまくとらえ、第36号となる逆転2ランホームランを放った。観客もこの日最高の盛り上がりを見せた。

カープは現在2位をキープしており、クライマックスシリーズ進出を決めている。復活した主砲と共に、今年こそ日本一を目指し戦ってもらいたい。

また、広島市で甚大な被害をもたらした「広島土砂災害」の被災者支援として、8月27日(水)、28日(木)の試合前に、マツダスタジアムにて選手達が義援金の呼びかけを行った。集まった義援金は、社会福祉法人中国新聞社会事業団を通じて、日本赤十字社へ送られる。



ツーランホームランを放つ
エルドレッド選手



選手とハイタッチをする
エルドレッド選手



広島メイプルレッズ

ハンドボールを広めよう 小学生がチャレンジ



子供たちに指導する選手たち

9月20日(土)に平成26年度西区スポーツセンタートップススポーツチーム交流事業として、「広島メイプルレッズハンドボールチャレンジ！」が行われた。小学生50人を対象とし、広島メイプルレッズの選手とハンドボールにチャレンジするこの企画。広島メイプルレッズから5人の選手が、ハンドボールを知らない小学生たちにハンドボールの説明をした。選手と共にパス、シュートなどの基本的な練習をしたのち、試合を行った。試合の後には、サイン会などのお楽しみ会を行い、選手がメイプルレッズのPRをした。

また10月25日(土)には、佐伯区スポーツセンターで開催される日本リーグでエスコートキッズが行われるなど、スポーツセンターで様々なイベントが予定されている。このような機会を通して、今後子供たちのハンドボールへの関心が高まることを期待したい。



全日本総合出場権獲得！！

8月29日(金)から9月3日(水)に第57回全日本社会人バドミントン選手権大会が福島県郡山市総合体育館で行われた。この大会は、ベスト16以上に入れば12月に行われる日本最高峰大会の全日本総合選手権への出場権を獲得できる重要な大会であり、その出場権を手にするため広島ガスからも全選手が出場した。女子シングルスで、井上(静)選手がベスト16入りを果たしたのははじめ、女子ダブルスでは、小池・桜井ペアがベスト8、混合ダブルスにおいても、亀田・小町谷(東北マークス)ペア、桜井・鈴木(東北マークス)ペア、小池・石川(丸杉)ペアの3組がベスト8入りと、広島ガスから井上(静)・小池・桜井・亀田選手の4名が全日本総合選手権への出場権を獲得した。そして、9月26日(金)から9月28日(日)には島根県出雲市カミアリーナにて中国地区総合選手権大会が開催される。今後の広島ガスの活躍に期待したい。



中学生との交流深める

9月12日(土)、13日(日)湧永満之記念体育館と向原高校体育館において、安芸高田ハンドボールカップが行われ、ワクナガレオリックの選手たちが審判と優秀選手の選考などで参加した。この大会は地域との繋がりを大切にしたい大会で、保護者、安芸高田市、各チームの協力のもと開催された。また中学生を対象にしたもので、広島をはじめ、香川、愛媛、島根、鳥取、岡山、岐阜と、全国から多くの中学生が参加した。

この大会は民泊で、地域の方の手作り料理による歓迎パーティがいろいろな場所で行われた。ワクナガレオリックの選手たちも中学生とハンドボールの話をしながら一緒に食事をし、選手にとっても中学生にとってもお互い貴重な経験となった。

中国電力
陸上競技部
中国電力陸上競技部

秋・冬シーズンに向けて・・・

広島クロスカントリーに出場した
北魁道選手(左)と、兼実省伍選手(右)



9月中旬に夏期強化合宿を終えた中国電力陸上競技部。6月下旬から長期で強化を図り、前半は選手の足並みが揃わなかったものの、9月に入りチーム全体がまとまり、これからの大会を期待させるものとなった。その大きな要因は、エースの石川卓哉選手がチーム在籍後、初めて夏合宿のほぼ全スケジュールをチームで過ごしたことに加え、若手選手の台頭が挙げられる。若手選手の中でも特に、ひろしまクロスカントリー大会2位の兼実省伍選手や9月に全日本実業団合宿で国内トップクラスの選手と変わらない練習ができた中原大選手、北魁道選手の存在は大きい。

今後は9月27日(土)に開催の中国実業団長距離記録会から出場し、その後、海外マラソンや全日本実業団選手権を経て

駅伝へと移る。駅伝までは各選手の出場大会が異なるが、その個人大会で勢いに乗り、駅伝へ臨みたい。また、岡本直己選手、石川卓哉選手に次ぐエース級の選手の台頭にも期待したい。

8/26～9/25 トップス広島 試合結果

広島東洋カープ

- 8/26 カープ○ 12-6 ●ヤクルト
- 8/27 カープ○ 2-1 ●ヤクルト
- 8/28 カープ● 3-6 ○ヤクルト
- 9/ 9 カープ○ 2-1 ●中日
- 9/10 カープ○ 4-3 ●中日
- 9/11 カープ● 1-2 ○中日
- 9/15 カープ○ 4-0 ●巨人
- 9/16 カープ● 1-7 ○巨人
- 9/17 カープ● 7-9 ○巨人
- 9/19 カープ● 5-8 ○DeNA
- 9/20 カープ○ 3-1 ●DeNA
- 9/21 カープ○ 3-2 ●DeNA

サンフレッチェ広島

- ▽リーグ戦
- 9/13 サンフレッチェ広島● 0-1 ○ガンバ大阪
- 9/20 サンフレッチェ広島○ 2-0 ●アルビレックス新潟
- ▽ナビスコカップ
- 9/3 サンフレッチェ広島△ 0-0 △浦和レッズ
- ▽天皇杯
- 9/10 サンフレッチェ広島● 1-4 ○ガンバ大阪

《※広島で行われた試合のみを掲載しています。》

浦和を退け、ナビスコカップ準決勝進出！

シュートを打つ佐藤寿人選手



©2014 S.F.C.

9月7日(日)、サンフレッチェ広島がナビスコカップ準決勝進出を決めた。

準々決勝の相手は浦和レッズ。過去の対戦ではここ5戦勝っていない、苦手とする相手だ。ホームで行われた1st LEGでは、前半は佐藤寿人選手の決定機も多くあり主導権を握る。しかしそれを決めきれずにいると、後半、一転して浦和のペースになってしまった。それでも最後のところで踏ん張り、0-0のドローに持ち込んだ。

アウェイの2nd LEGでは、浦和のパスワークにチャンスを作られ、コーナーキックから先制されてしまう。しかし5分後、野津田岳人選手のゴールで同

点に追いつくと、後半3分の佐藤寿人選手のゴールで逆転に成功する。後半26分に同点弾を奪われてしまったサンフレッチェだが、その後は全員が体を張った守備でゴールを死守。アウェイゴール数で浦和を上回り、準決勝進出を決めた。

準決勝の相手は柏レイソルに決まり、10月9日(木)にエディオンスタジアムで1st LEGが行われる。4年前、目前で逃したナビスコカップ初の頂点目指して全力で戦ってもらいたい。

キリンチャレンジカップ2014 日本代表に2名の選手が選出

キリンチャレンジカップ2014(9/5(金)対ウルグアイ代表、9/9(火)対ベネズエラ代表)に、サンフレッチェ広島から水本裕貴選手と皆川佑介選手が選出された。

5日のウルグアイ戦では、皆川選手がセンターフォワードで先発出場。前半17分にはゴール正面で岡崎選手のクロスに頭で合わせたが、シュートはクロスバーの上に流れた。この日、日本は0-1で敗北、黒星スタートとなった。9日のベネズエラ戦は、水本選手が最終ラインで選拔出場。試合結果は2-2の引き分け。

今後の日本代表は、10月10日(金)にジャマイカ、14日(火)にブラジルと国際親善試合で対戦する。今回の2名に続き、怪我から復帰した青山敏弘選手、さらには塩谷司選手や石原直樹選手といった選手が選出されるかも注目だ。

日豪国際女子ホッケー親善試合 CCW 選手の活躍目立つ

8月29日(金)、30日(土)、コカ・コーラウエストレッドスパークスホッケースタジアムで女子ホッケー日本代表による日豪国際女子ホッケー親善試合第3戦、最終戦が行われた。コカ・コーラウエストレッドスパークスから監督をはじめ、選手、スタッフ計11名が選ばれた。相手は、オーストラリアA代表で第1戦、第2戦ともに日本が勝利している。

前2試合を勝利している日本は第3戦も主導権を握った試合運びを見せる。第1クォーター、第2クォーターでは1点ずつ得点し2-0。第3クォーターでは、オーストラリアに1点を返されるもすぐさま反撃。1-1で第4クォーターへ。第4クォーターでは、互いに無得点となり試合終了。3-1で日本の勝利となった。コカ・コーラウエストレッドスパークス所属の三橋亜記選手はこの試合、1得点の活躍を見せ、勝利へ大きく貢献した。

最終戦は第1クォーターにオーストラリアA代表に先制される苦しい展開となった。リードされたまま迎えた第3クォーター、コカ・コーラウエストレッドスパークス所属の新井麻月選手が得点し、ついに追いつく。さらに、同選手が得点し勝ち越しに成功。1点リードで迎えた第4クォーター、日本は、コカ・コーラウエストレッドスパークス所属の西村綾加選手が得点。3-1で見事に逆転勝ちし、新井・西村両選手の活躍が勝利につながった試合であった。

日豪国際女子ホッケー親善試合を4勝0敗で終えた日本代表。仁川アジア大会での優勝に向けて、大きな一歩を踏み出した。コカ・コーラウエストレッドスパークスの選手の活躍が目立ったこの親善試合。同チーム選手のアジア大会での活躍にも期待したい。